

THE HEROIC RIVALS
at their several strongholds
who will win? it is me who gets the honor. 2020

SUPER
BIKE RACE

2020MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第3戦

JSB1000
JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

野左根航汰が大荒れのレースを制し3連勝! 中須賀克行が復活の2位、3位に水野涼が入賞

大分県・オートポリスで迎えた全日本ロードレース選手権第3戦。第2戦岡山ラウンドが台風10号の影響で中止となったため、今回が実質2戦目となる。オートポリスは、阿蘇の雄大な自然の中にあるサーキットということもあり、過去に悪天候のためレースウィークのいずれか1日が中止になったことが多々ある。今回も金曜日は、霧と言うよりは雲の中に入ってしまい、視界不良のため1日走行できずに終わっていた。コロナ禍の影響を受けてのリスケジュールでオートポリスの事前テストは中止となっており、多くのライダーは、土曜日が昨年以来の走行となっていた。

それでも、いつものタイムスケジュールと違い、土曜日の午前中に特別スポーツ走行が設けられており、清々しい秋晴れの中でマシンを確認。午前の走行もそうだったが、午後に行われた公式予選でもYAMAHA FACTORY RACING TEAMの2人がセッションをリード。セッション序盤は、2人でランデブーし、タイムを出し、中盤には、中須賀克行が真っ先に1分47秒台に入れる1分47秒697をマークしリーダーボードのトップに立つ。しかし、終盤に野左根が1分47秒182までタイムを縮めポールポジション。計測最終周に1分47秒373を出し、セカンドタイムでもトップとなり、2戦連続でダブルポールポジションを獲得した。中須賀も2レースとも2番手グリッドとなり、レースでもヤマハの2台がリードして行くことが予想された。

昨年の20周に比べ、5周少ない周回数で行われ

ることになっていたレース1。オンタイムの16時5分にスタートが切られた。2列目4番手グリッドから好スタートを見せた清成龍一がホールショットを奪い、ポールポジションの野左根、中須賀、水野涼、前田恵助、加賀山就臣、渡辺一馬、岩田悟、柳川明、濱原颯道と続く。オープニングラップは、そのまま清成が制し、中須賀、野左根、水野と続き、やや間隔を空けて加賀山、前田、渡辺、岩田、柳川と続いていた。2周目の1コーナーでは、水野が中須賀と野左根を一気にパスし2番手に浮上。Honda CBR1000RR-Rが1-2体制を築いていた。路面温度が予想以上に下がったこともあり、各ライダーは慎重にコンディションを判断しつつバトルを展開。この時点で清成を先頭に水野、中須賀、野左根の4台がトップグループを形成していた。

3周目に野左根が動く。3コーナーで中須賀を、第2ヘアピンで水野をかわし2番手に浮上するとセクション後半の上り区間で清成をかわしトップに立つ。このままペースを上げたい野左根だったが、思うようにペースが上げられない。中須賀も、そうやすやすと逃すまいと4周目に2番手に上がると5周目に、このレースのファステストラップをマークし野左根の背後に迫って行く。そして7周目の第2ヘアピンで、この日初めてトップに立つ。このまま中須賀と野左根の一騎打ちになるかと思われたが、中須賀も前に出るとペースが上がらず、清成と水野が接近し、再びトップグループは4台にふくれ上がっていた。

野左根は、9周目の1コーナーで中須賀のインに飛び込み、3コーナーまで二人は並んで立ち上がって行ったが、野左根がアウトからかぶせトップを死守。10周目の1コーナーでは、水野が清成をかわし3番手に浮上。そしてレース終盤に入って行く。1コーナーでは、ほぼ毎周回、横に並び、イン側の野左根に譲る形で立ち上がっていた。中須賀は、いつでも抜けるとばかり、野左根にプレッシャーをかけ、13周目のSHOWAコーナーのブレーキングでトップを奪う。これに対し野左根も14周目の1コーナーで再び前が出るが、上りの右コーナーで中須賀が再び前が出る…。その直後に赤旗が提示されてしまう。10番手を走っていた加賀山にマシントラブルが発生してしまい3コーナーで転倒。これに秋吉耕佑、黒木玲徳も巻き込まれてしまうアクシデントが発生したためだった。

この結果、赤旗の2周前となる12周終了時点でレースは成立。野左根が優勝となり3連勝。中須賀は悔しい2位。3位に水野、4位に清成となった。5位には、渡辺が入り、前田、岩田、柳川、濱原、関口太郎、亀井雄大と続いた。

レース2は、レース1より3周多い18周で争われる。レース1の結果を受け、どうコンディションに合うアジャストができるかがカギを握っている。野左根が連勝記録を伸ばすか? 中須賀がレース2こそ制すか!? Honda勢が意地を見せるか!? 最終ラップのファイナルコーナースタンド前をトップで表れるのは、果たして!?

JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

JSB1000 決勝 [Race1] 正式結果表

●予選・決勝[Race1](15周)/9月19日(土):天候・路面/曇・ドライ

Pos No	Rider	Team
1	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM
2	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM
3	634 水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda
4	17 清成 龍一	Keihin Honda Dream SI Racing
5	33 渡辺 一馬	Keihin Honda Dream SI Racing
6	75 前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM
7	36 岩田 悟	Team ATJ
8	87 柳川 明	will raise racingRS-ITOH
9	72 濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ
10	44 関口 太郎	SANMEI Team TARO PLUSONE
11	25 亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team
12	13 津田 一磨	BabyFace POWERED by YOSHIMURA
13	28 児玉 勇太	Team Kodama
14	55 田尻 悠人	GOSHI Racing
15	19 中富 伸一	HITMAN RC甲子園 ヤマハ
16	78 岡田 寛正	Hondaブルーヘルメット MSC熊本
17	71 加賀山 就臣	Team KAGAYAMA
18	090 秋吉 耕祐	au•kosuke racing
19	54 黒木 玲徳	GOSHI Racing

***** 以上完走 *****
Fastest Lap : 1'47.860 (5 / 12) 156.002 km/h
#1中須賀 克行 / YAMAHA FACTORY RACING TEAM
Start Time :16:06'03 Finish Time :16:31:06



レース1…優勝(予選ポールポジション)
レース2…ポールポジション:1'47.373
#3 野左根 航汰 YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『スタート直後に想定外に4番手まで下がってしまい、そこからトップに立つてからも思った以上にペースを上げることができませんでした。途中から中須賀選手とバトルになったのですが、後ろにいと、ついて行きやすいのですが難しいレースでした。赤旗が提示されたときは、2位かかと思っていました。結果的に勝てたことは、うれしいですが、レース2は、最後まで戦いたいですね』



レース1…2位(予選2番手)
レース2…予選2番手:1'47.765
#1 中須賀克行 YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『野左根選手も言っていました、最後までバトルをしたかったですね。第1戦SUGOで転倒しノーポイントだったので、今回のオートポリスが開幕というフレッシュな気持ちでサーキット入りしました。いいマシンを用意してくれたチーム、スタッフに感謝したいですね。レース2でも、地元の皆さんにいいレースをお見せしたいと思っています』



レース1…3位(予選3番手)
レース2…予選3番手:1'48.403
#634 水野 涼 MuSASHi RT HARC-PRO.Honda

『第2戦岡山ラウンドが中止となってしまったので、今回のオートポリスは、今シーズン実質2戦目になりましたが、第1戦SUGOに比べるとトップとの差を詰めることができたと思います。マシンは、走る度によくなっていますし、レース1の反省点を活かして、レース2では、もっと接近できるようにしたいですね。そのために朝のウォームアップ走行でのアプローチを変えて臨もうと思っています』

DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER

ST 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

高橋裕紀が2戦連続となるポールポジションを獲得!!
「スタートしたら全力全開! SUGO同様ぶっちぎりたい!」



ポールポジション: R 1'50.917
#23 高橋 裕紀
日本郵便HondaDream TP

『連続ポールポジションがとれて、まずはホッとしています。このオートポリスに臨むにあたって、目標とするのは、自分のJSBのベストタイムである49秒台だったんですが、先日スポーツ走行では52秒台しか出てなくて、今日の50秒台からそこ(49秒台)まで削るのは非常に難しかったです。ただ1人だけの50秒台ですが、自分としてはもう少し詰めたかったですね。49秒台はもっと詰めていけば出せるとは思いますが、まだまだ新型のポテンシャルを活かできていないと思います。ライバルたちもどんどん速くなっていますから、気は抜けないですが、SUGO同様にスタートから全開で、走りながら作戦を考えたいと思います』

ST1000クラスの公式予選は、高橋裕紀がセッション開始にいきなり1分51秒189をマークすると、立て続けに50秒917までタイムを刻み、トップをキープする。2番手には名越哲平が51秒342、スポット参戦の山口辰也も51秒583でこの日午前中のART走行でマークした51秒台のタイムを更新して続く。津田拓也、岩戸亮介も51秒7~8で名を連ね、ここまでが51秒台。6番手の國川浩道が52秒361。

予選・決勝で2セットというタイヤ本数制限もある中、その後はタイムアップするライダーも現れず、セッションの終盤に榎戸育寛が52秒283をマークしてポジションを一つ上げた6番手となって、セッションが終了した。この結果、高橋が開幕戦SUGOに続いて2戦連続ポールポジションを獲得した。2番手に名越、山口、51秒754で津田、51秒832で岩戸、そして榎戸と続く。

ST 600
 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
 REPORT & INTERVIEW



荒川晃大が嬉しいポールポジション獲得！ 「スタートからレースをリードして差を付けて優勝したい！」



荒川晃大

ST600も30分で1セッションの予選となった。開始早々から荒川晃大が1分52秒876でトップに立つ。2番手は53秒425の小山知良、荒川のチームメイト鈴木光来、南本宗一郎とここまですが53秒台。その後54秒1の長尾健吾と続いてセッションが始まった。

開幕戦の勝者でポイントリーダーの岡本裕生はその後53秒251をマークして一気に2番手にポジションアップしてきた。

赤旗による一時中断をはさんで、セッション後半は小山が53秒300までタイムを刻むが、順位を変えるまでには至らず。結局そのままの順位で荒川がポールポジションを決めた。

2番手には岡本、3番手小山がフロントロウ、53秒516の鈴木、53秒584で南本、53秒948で國峰琢磨でセカンドロウ、以下54秒124の長尾健吾、54秒283の佐野優人、54秒419で阿部恵斗と続く。



ポールポジション：1'52.876
#54 荒川晃大
MOTOBUM HONDA

『予選では、コースレコードも頭の中に入れて走っていましたが、昨年のオートポリスはあまり良くなく、楽しいんですが、あまりタイムを出せていないコースだったので、今日は素直に嬉しい予選だったと思っています。今年はチャンピオンを狙っているので、毎レースでタイムにこだわって予選から臨んでいます。結果は良かったと思います。かなりブッシュして気合をいれて走ったタイムですね。自分は一発のタイムを出すのは得意なので、そこを活かして走りました。SUGOでは悔しい結果だったので、今回はスタートからレースをリードして、最終的には後ろと差を付けて優勝したいと考えています』

J-GP3
 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
 REPORT & INTERVIEW

小室旭が反撃のポールポジション！ 「もう“自信しかない” と言い切れますね！」



小室旭

30分間に設定されたJ-GP3の公式予選。序盤は、小室旭、村瀬健琉、高杉奈緒子ら、金曜日にキャンセルされたことから土曜午前中に行われたART走行で上位に位置したライダーたちがトップタイムを争う。

中でも小室と同じKTMユーザーの高杉がセッション序盤から59秒124をマークしてトップに立つ。小室が59秒375、村瀬が59秒294とここまですが59秒台でのしを削る。

セッション中盤から後半には、徳留真紀、宇井陽一らベテランも59秒をマークして上位につける。しかし、小室は58秒146とトップを盤石なものにしていく。しかし、成田彬人が58秒606で2番手に浮上、村瀬も58秒台に入れた後、58秒539で2番手を奪うという、激しいアタックに。高杉も最後に58秒732まで上げるが4番手。ポールポジションは小室、2番手に村瀬、成田、高杉、徳留、宇井とセカンドロウまでに並んだ。



ポールポジション：1'58.146
#32 小室旭
Sunny moto planning AKR

『オートポリスを走るのはすごく楽しみにしてて、今年自分のチームを立ち上げるようになって、チーム総勢で九州に乗り込んだんです。熊本からここまで来るルートもすごく好きで。残念ながら昨日は走れませんでした。その分今日は天気も良い中で気持ちよく走れました。今年のパッケージ、KTMで走るのは初めてのコースなんですけど、オートポリス自体は何度も走っていますから、そこも武器にして、決勝ではSUGOのように差を付けられないように、若いタケル(村瀬健琉)と競り合っているレースができるようにしたいですね』

MFJ Superbike Round 3 SUPERBIKE RACE in KYUSHU 19 - 20 September 2020 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走19台
●決勝[Race2]スタート進行/15:00(18周)

JSB1000[Race2] 公式予選 セカンドラップタイム 正式結果表

Pos	No.	Name	Team	Machine	2nd Time
1	3	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'47.373
2	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'47.765
3	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR-R	1'48.403
4	17	清成 龍一	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	1'48.966
5	75	前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	1'49.025
6	72	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RR-R	1'49.529
7	33	渡辺 一馬	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	1'49.636
8	87	柳川 明	will raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	1'50.344
9	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'50.472
10	25	亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	CBR1000RR-R	1'50.633
11	44	関口 太郎	SANMEI Team TARO PLUSONE	S1000RR	1'50.643
12	36	岩田 悟	Team ATJ	CBR1000RR-R	1'50.657
13	13	津田 一磨	BabyFace POWERED by YOSHIMURA	GSX-R1000R	1'50.932
14	090	秋吉 耕佑	au-kosuke racing	CBR1000RR-R	1'51.921
15	28	児玉 勇太	Team Kodama	YZF-R1	1'52.275
16	19	中富 伸一	HITMAN RC甲子園 ヤマハ	YZF-R1	1'53.061
17	54	黒木 玲徳	GOSHI Racing	CBR1000RR SP2	1'53.685
18	55	田尻 悠人	GOSHI Racing	CBR1000RR SP2	1'53.780
19	78	岡田 寛正	Hondaブルーヘルメット MSC熊本	CBR1000RR-R	1'54.639

**** 以上予選通過基準タイム (1'55.396 - 107%) ****
**** 以上予選通過基準タイム (1'55.396 - 107%) ****
StartTime:11:55'00 FinishTime:12:35'00



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走18台
●決勝スタート/10:25(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	32	小室 旭	Sunny moto planning AKR	RC250R	1'58.146
2	3	村瀬 健琉	Team TKR	NSF250R	1'58.539
3	71	成田 彬人	Team P.mu 7C MIKUNI	NSF250R	1'58.608
4	12	高杉 奈緒子	TEAM NAOOKO KTM	RC250R	1'58.732
5	36	徳留 真紀	マルマエMTR	NSF250R	1'59.363
6	41	宇井 陽一	41プランニングTeam One For All	TR-004	1'59.503
7	2	鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	NSF250R	2'00.469
8	11	山本 恭裕	TEAMLIFE・ドリーム北九州	NSF250R	2'00.865
9	96	中島 元気	Honda浜松エスカルゴRT	NSF250R	2'01.034
10	72	C 藤田 哲弥	Team P.mu 7C MIKUNI	NSF250R	2'01.251
11	95	千田 俊輝	SDG Mistresa Jr.Team	NSF250R	2'01.258
12	8	岡崎 静夏	RT YOLO SARD&ばわあくらふと	NSF250R	2'01.400
13	70	山田 尚輝	SDG Mistresa Jr.Team	NSF250R	2'01.533
14	43	彌染 都	ClubPARIS・Y's	NSF250R	2'01.864
15	50	S 大田 隼人	RSGレーシング&ドリーム北九州	NSF250R	2'01.923
16	33	C 仲村 瑛冬	犬の乳酸菌.jp/プリミティブRT	NSF250R	2'02.220
17	52	S 上江洲 葵要	ライダーズサロン横浜☆ペンスケ	NSF250R	2'02.746
18	20	村田 憲彦	TEAM SAMURAI	NSF250R	2'05.065

**** 以上予選通過基準タイム (2'07.905 - 108%) ****
C:チャレンジクラス, S:特別参加枠
StartTime:12:45'00 FinishTime:13:15'00

Supported by BRIDGESTONE



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走43台
●決勝スタート/11:40(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	54	荒川 晃大	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	1'52.876
2	41	岡本 裕生	51ガレージ ニトロレーシング	YZF-R6	1'53.251
3	1	小山 知良	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	1'53.300
4	31	鈴木 光来	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	1'53.516
5	2	南本 宗一郎	AKENO SPEED-YAMAHA	YZF-R6	1'53.584
6	104	國峰 啓磨	TOHO Racing	CBR600RR	1'53.948
7	50	長尾 健吾	NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん	YZF-R6	1'54.124
8	97	佐野 優人	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	1'54.283
9	39	阿部 恵斗	Webike チームノリックヤマハ	YZF-R6	1'54.419
10	18	横山 尚太	ガレージL8 RACING TEAM-YAMAHA	YZF-R6	1'54.437
11	71	笠口 遥希	SDG Mistresa RT HARC-PRO	CBR600RR	1'54.502
12	98	佐野 勝人	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	1'54.536
13	340	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	1'54.544
14	33	中山 耀介	伊藤レーシング&TEAM SHOTA	YZF-R6	1'55.001
15	75	綿貫 舞空	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	1'55.046
16	11	伊達 悠太	BATTLE FACTORY	CBR600RR	1'55.158
17	36	井手 翔太	AKENO SPEED-YAMAHA	YZF-R6	1'55.228
18	38	伊藤 元治	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	1'55.301
19	341	和田 留佳	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	1'55.334
20	86	西嶋 修	TeamWith87KYUSHU	ZX-6R	1'55.377
21	53	家根谷 大晟	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	1'55.474
22	17	田所 隼	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	1'55.992
23	22	長尾 健史	富永総業TEAMけんけんwithBEE	YZF-R6	1'56.040
24	46	芳賀 涼大	ニトロレーシング	YZF-R6	1'56.068
25	49	松岡 玲	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	1'56.193
26	56	植垣 創平	グリーンクラブ 能塚	ZX6R	1'56.363
27	51	関野 海斗	51ガレージ ニトロレーシング	YZF-R6	1'56.462
28	45	芳賀 瑛大	ニトロレーシング	YZF-R6	1'56.662
29	93	橋口 翔真	グリーンクラブ 能塚	ZX-6R	1'57.076
30	44	平野 ルナ	TransMap Racing with ACECAFE	YZF-R6	1'57.084
31	74	牧田 颯生	Team RSC	CBR600RR	1'57.121
32	19	中村 竜也	RS-ITOH&オートボーイ	ZX-6R	1'57.193
33	87	茅野 一晝	ZOOM R.T.	YZF-R6	1'57.293
34	32	名越 公助	TEAM PLUSONE	YZF-R6	1'57.340
35	40	豊島 智博	RS-ITOH	ZX-6R	1'57.791
36	90	齊藤 颯	デルル・MotoUP レーシング	CBR600RR	1'58.241
37	64	岡本 雄一郎	RSG レーシング	CBR600RR	1'58.653
38	55	本川 楓	RSGレーシング	CBR600RR	1'58.657
39	84	繁永 虎之介	TEC2&無法松&DS.Company	YZF-R6	1'59.032
40	37	櫻井 賢一	MOTO BUM	CBR600RR	1'59.050
41	77	中谷 真季	Team moto-girls	YZF-R6	2'01.087
42	73	今村 洋介	チームいずみ	ZX6R	2'01.285

**** 以上予選通過 ****
43 52 野島 由晶 TEAM38 ZX-6R(ZX600R)2'02.102
**** 以上予選通過基準タイム (2'02.193 - 108%) ****
62 松本 吉生 豊後なしかレーシング倶楽部 CBR600RR 出走せず
StartTime:13:30'00 FinishTime:14:12'00

DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走27台
●決勝スタート/13:55(14周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	23	高橋 裕紀	日本郵便 HondaDream TP	CBR1000RR-R	1'50.917
2	634	名越 哲平	MuSASHi RT HARC-PRO	CBR1000RR-R	1'51.342
3	52	山口 辰也	Team T2y with NOBLESS FAMILY	CBR1000RR-R	1'51.554
4	85	津田 拓也	WestPower-S-SPORTS-SUZUKI	GSX-R1000R	1'51.754
5	64	岩戸 亮介	Vamos Racing with A-TECH	Ninja ZX-10RR	1'51.832
6	71	榎戸 育寛	SDG Mistresa RT HARC-PRO	CBR1000RR-R	1'52.283
7	104	國川 浩道	TOHO Racing	CBR1000RR-R	1'52.361
8	33	藤田 拓哉	SpeedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	1'52.445
9	73	松崎 克哉	team能塚&mcsMATSUZAKI	ZX-10RR	1'52.525
10	46	星野 知也	TONE RT SYNCEDEGE4413 BMW	S1000RR	1'52.608
11	17	作本 輝介	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	1'52.725
12	87	清未 尚樹	Team WITH87 KYUSHU	ZX-10RR	1'52.749
13	95	瀧美 心	TONE RT SYNCEDEGE4413 BMW	S1000RR	1'52.928
14	14	伊藤 和輝	will raiseracingRS-ITOH	ZX-10RR	1'53.172
15	57	奥田 教介	Team MF&Kawasaki	ZX-10RR	1'53.633
16	12	長谷川 聖	Team KAGAYAMA poweredbyYOSHIMURA	GSX-R1000	1'54.243
17	90	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR-R	1'54.271
18	16	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR1000RR-R	1'54.399
19	34	小島 一浩	Honda 緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR-R	1'54.401
20	38	森本 誠一朗	Team38 PS-K	ZX-10RR	1'54.715
21	59	荒瀬 貴	team IZUMI	GSXR1000	1'56.269
22	15	Dzegede Zechariah	Odakaihatsu aprilia + TOHO	RSV4	1'57.045
23	13	柴田 義将	OGURA CLUTCH with RIDE IN	YZF-R1	1'57.775
24	26	谷本 音紅郎	SpeedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	1'57.984
25	27	野田 友治	AKENO SPEED	YZF-R1	1'58.329
26	98	中澤 孝之	SpeedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	1'59.286

**** 以上予選通過基準タイム (2'00.172 - 108%) ****
18 上林 隆洸 浜松チームタイタン GSX-R1000R 2'00.494
R:New Record
StartTime:14:25'00 FinishTime:14:55'00

INFORMATION



全日本ロードレース選手権全戦・全クラス(JSB1000/ST1000/ST600/J-GP3 & MFJカップJP250)の予選・決勝をライブ配信! 迫力ある映像をお届けします。※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります。

インターネットライブ & 動画配信も充実!!



You Tube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!



国内最高峰のJSB1000クラスに加え、新設されたST1000クラスを中心に日本のトップライダー達の熱いバトルの様態などをお届けします。
また、新車インプレッション等の最新二輪情報満載のバイク番組です。

毎週最終土曜21:30~22:00

詳しくはBS12(トゥエルビ)
<https://www.twelvlv.co.jp/>